

仮称 新日明工場建設工事地質調査

報 告 書

昭和61年11月

§ 1. 調査概要

- (1) 調査件名 仮称新日明工場建設工事地質調査
- (2) 調査場所 北九州市小倉北区西港町96-2
(図1-1調査位置図(S=1:25,000)参照)
- (3) 調査目的 新日明工場建設工事に伴い、地盤性状を把握し、
設計・施工のための基礎資料を得る。
- (4) 調査内容 表1-1調査数量表に示すとおりである。

表1-1 調査数量表

孔番	掘進長 (m)	標準貫入試験 (回)	*) 地盤高 (m)	孔内水位 GL-(m)	備考
No. 1	15.0	15	+9.22	3.20 ✓	ボーリング孔径 φ66mm ✓
No. 2	15.0	15	+9.26	3.20	
No. 3	15.0	15	+9.24	3.10	
No. 4	15.0	15	+9.33	3.20	
No. 5	15.0	15	+9.18	3.00	
No. 6	17.0	17	+9.21	3.10	
計	92.0	92			

*) ボーリング孔口の地盤高は、既設事務棟グラウンド側入口にある階段横のコンクリート天端を仮B.M(GL+10.00m)として水準測量により求めた。
(現場写真仮B.M)

(5) 使用機材

試錐機	東邦地下工機製 D-1型	1台
試錐ポンプ	東邦地下工機製 BG-3B型	1台
エンジン	ヤンマーNS90C	1台
標準貫入試験器	JIS A 1219	1台
その他関係資材		1式

(6) 調査期間 自 昭和61年10月21日
至 昭和61年11月24日

図 1-1 調査位置図 S=1:25,000

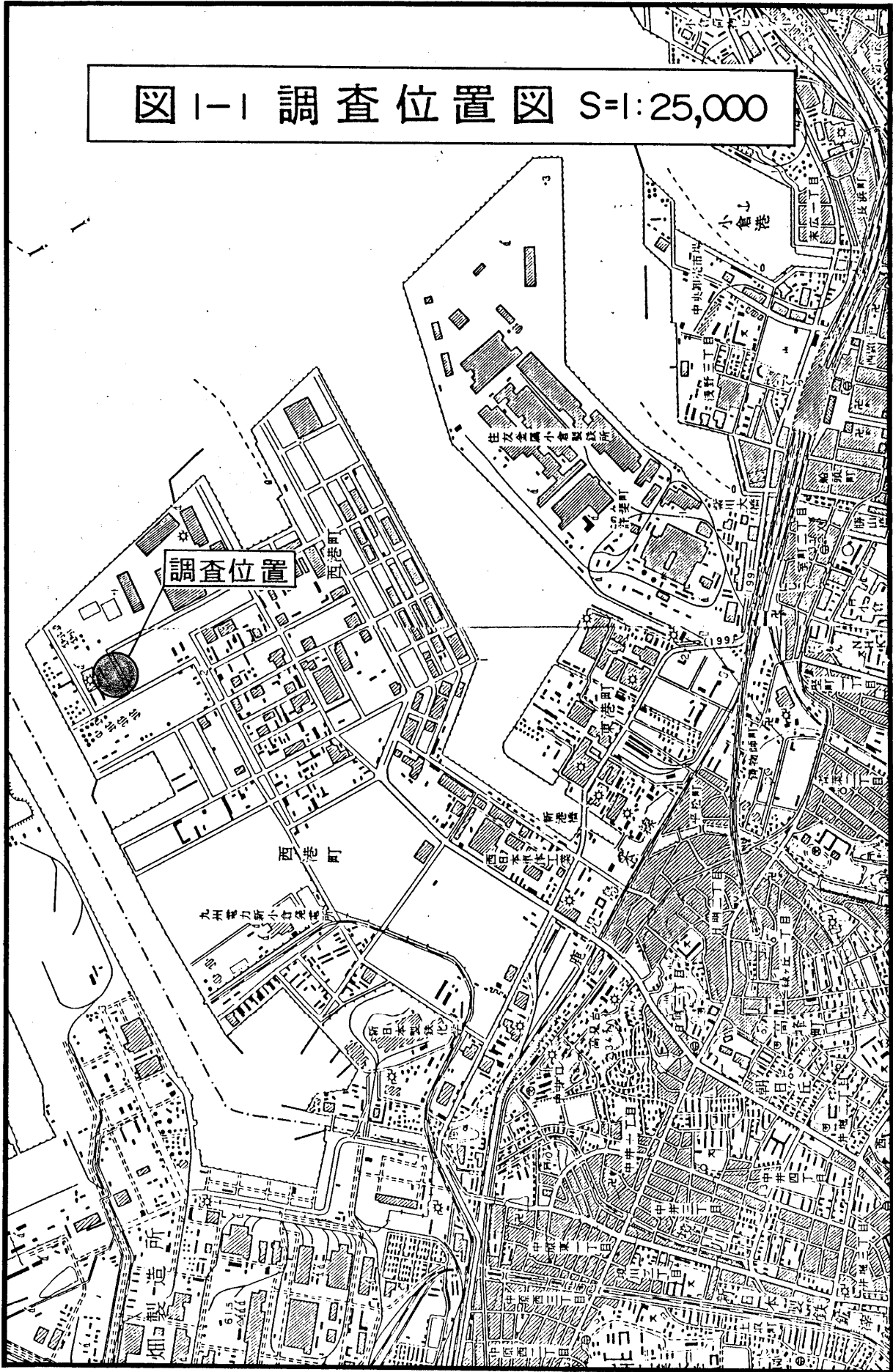


図 1-2 試錐位置図

凡例

既設計量標

既設工場棟

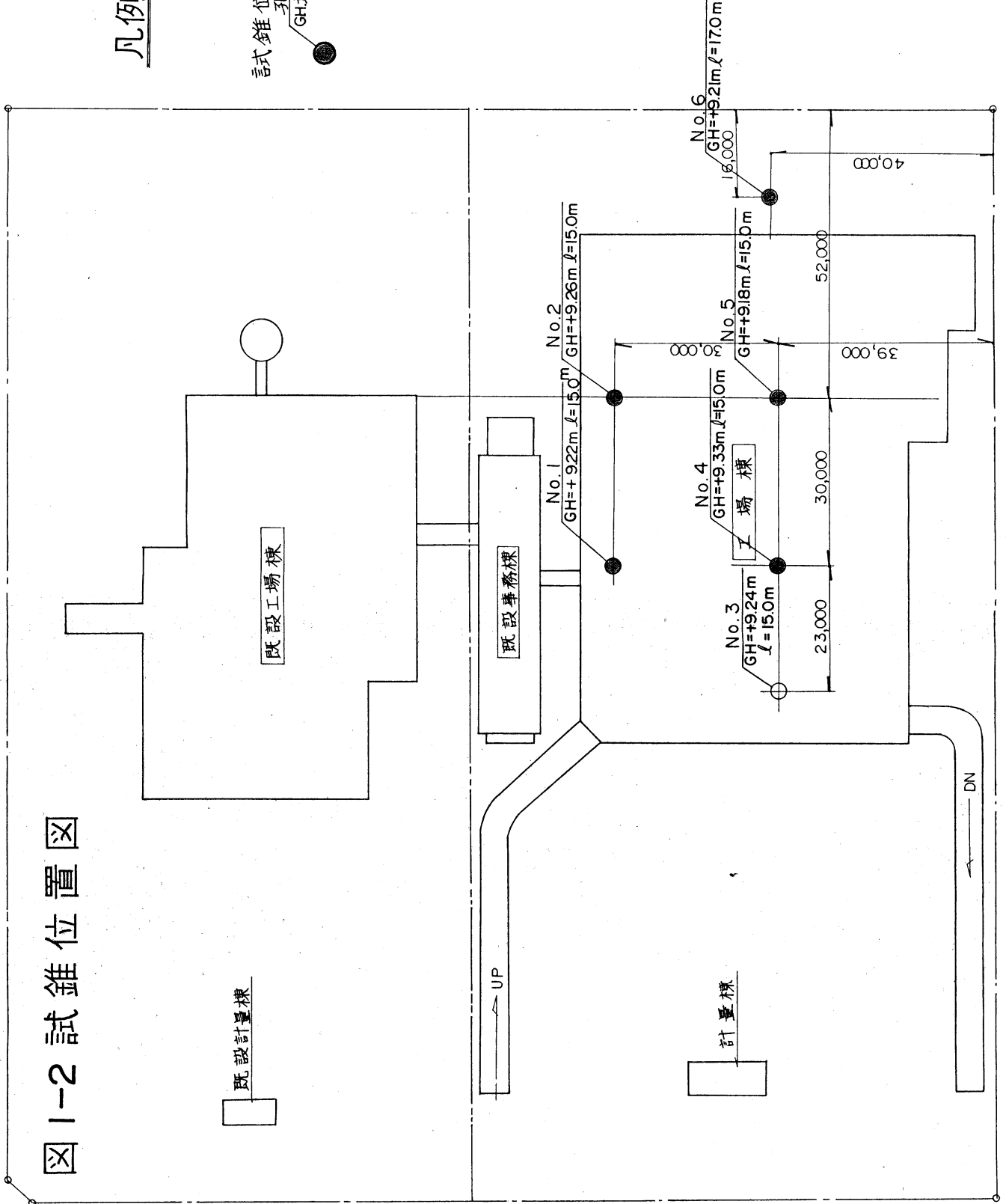
UP

既設事務棟

計量標

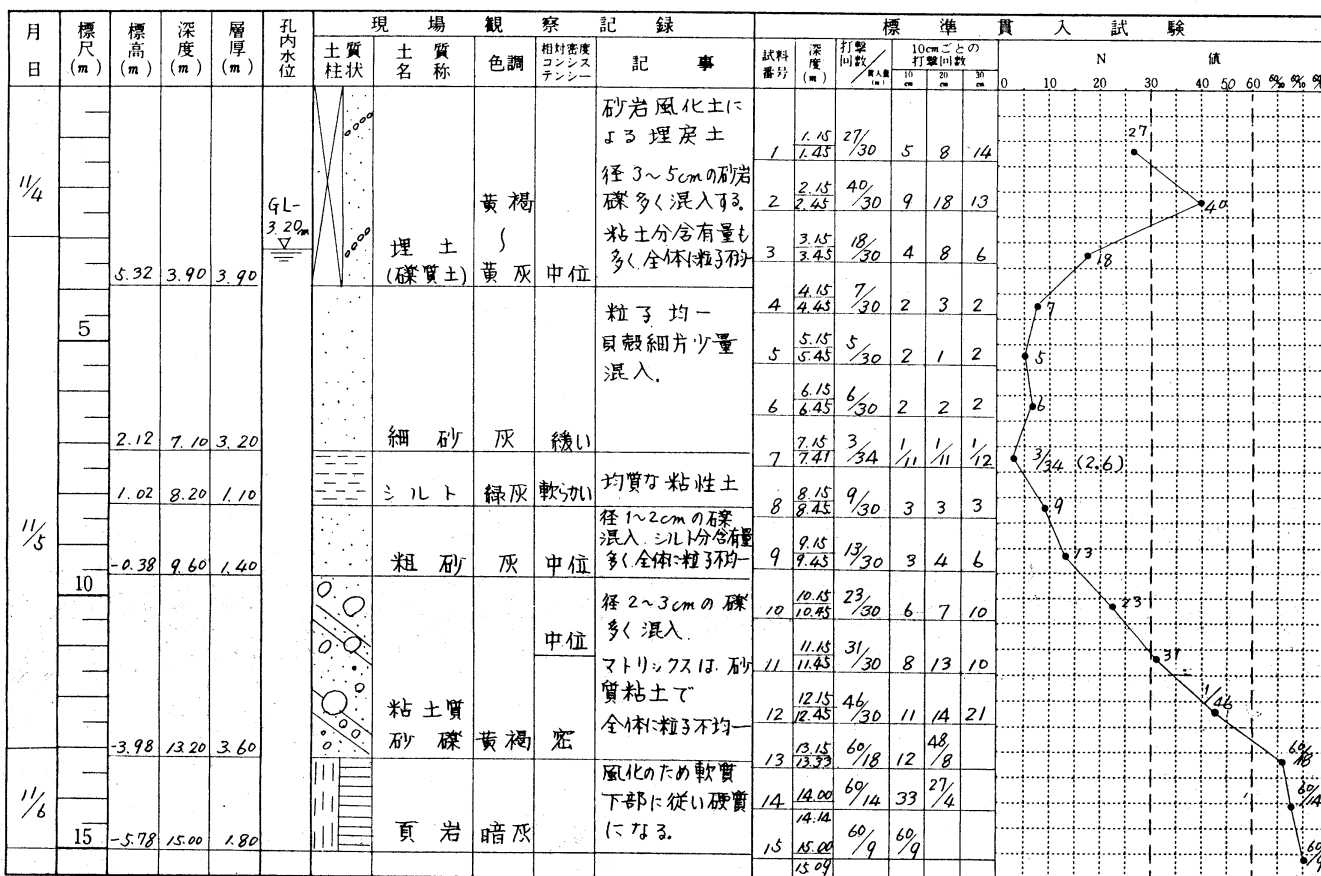
試錐位置
孔番

GH: 挖盤高, L: 掘進長



土質柱状図 縮尺 1:100

調査名称	飯新日明工場建設工事地質調査		調査場所	北九州市小倉北区西港町 96-2	
試錐孔番号	No. 7	掘進深度	15.00 m	標高または地盤高	+9.22 m
調査期間	自昭和61年11月4日	孔内水位	GL-3.20 m	調査担当者	
	至昭和61年11月6日				



土質柱状図 縮尺 1:100

調査名称	仮称新日明工場建設工事地質調査		調査場所	北九州市小倉北区西港町 96-2	
試錐孔番号	No. 5	掘進深度	15.00 m	標高または地盤高	+ 9.18 m
調査期間	自 昭和 61年 10月 28日	孔内水位	GL-3.00 m	調査担当者	
	至 昭和 61年 10月 29日				

月日	標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	孔内水位	現場観察記録				標準貫入試験															
						土質柱状	土質名称	色調	相対密度 コンシ テンシー	記事	試料 番号	深度 (m)	打撃 回数	10cmごとの 打撃回数			N 値								
										0	10	20	30	40	50	60	%	%	%						
10/28					GL-3.00m ▽		埋土 (礫質土)	黄灰	中位	径1~5cmの礫 多量混入 礫は全体に 硬質 礫の混入率 50~70%と多い	1	1.15	27/30	4	14	9									
		5.58	3.60	3.60							2	2.15	60/2	21	39/2										
											3	3.15	35/30	8	13	14									
											4	4.15	7/30	3	2	2									
											5	5.15	4/30	1	2	1									
10/29		2.78	6.40	2.80			細砂	灰	緩い	粒子均一 貝殻細片少量 混入	6	6.15	3/34	1/4	1/2	1/8									
											7	7.15	2/31	1/7	1/4										
		1.38	7.80	1.40			シルト	緑灰	軟5%L	均質 やや細砂銷 する。	7	7.45	2/31	1/7	1/4										
							シルト質砂	灰	緩い	シルト層がブロック 状に存在する。	8	8.15	4/30	1	1	2									
		0.68	8.50	0.70			礫混じり シルト質砂	灰	緩い	貝殻片混じる。 径1~2cmの礫点 在する。	9	9.15	5/30	1	2	2									
										全体に粒子均一 径1~3cmの礫 多量混入	10	10.15	8/30	2	3	3									
										粘性土分含有量 多(全体に粒子不均)	11	11.15	12/30	3	3	6									
										風化のため軟質 支持層として良好	12	12.15	56	4	5	47									
											13	13.00	60/17	27	37/7										
											14	14.00	60/19	21	39/9										
	15	5.82	15.00	2.30			頁岩	灰		15	15.00	60/9	60/9												

